

## 三ヶ月のオランダ滞在を終えて 化学専攻 博士課程2年 新田寛久

私は2012年9月11日から同年12月3日までおよそ三ヶ月の間、オランダのアイントホーフェン工科大学に海外派遣していただいた。私は超分子化学の権威である E. W. (Bert) Meijer 教授の下で「水素結合ユニットを導入したポルフィリン誘導体の合成と超分子構造の解析」という研究テーマに取り組んだ。Meijer グループは3つの実験室と数多くの実験設備を有する大変大きな研究室であり、各国からの学生・ポスドクたちが所属し、研究、プライベートの両面で充実した日々を送っていた。ここでの研究ではポルフィリンの自己集合に関するものであったが、日本で所属している研究室にはない実験装置を使う機会もあり、大変貴重な経験になった。そうした充実した研究環境のお陰もあって化合物の合成を完了すると共に、超分子構造の解析までひと通りの評価を行うことができた。Meijer 教授や他のメンバーとのディスカッションも大変有意義で、新参者の私の理解を大いに助けてくれた。

このような素晴らしい機会を与えて下さった ALPS, そして留学に当たりお世話になった中村教授, Meijer 教授, そしてオランダの研究室の皆様感謝いたします。

